

令和 7 年 4 月のクマ人身事故に係る緊急対策

令和 7 年 5 月 8 日

北信地域振興局 林務課

今回の人身事故を受け、振興局では関係機関と連携し、下記の緊急対策に取り組んでいます。

(1) 広域連携クマ対策チーム(市町村・専門家・局)による緊急対応・点検

市 町 村	実施日	実 施 内 容
飯山市 常盤 (小沼)	4/9	●人身事故発生に伴う緊急対応（飯山市、飯山警察署との連携）
	4/10	●クマ対策員がベアドッグでクマの痕跡を追跡（4/10）
	4/11～	●クマ対策員がサーマルドローンで近隣の藪を探索（～4/24）
	4/14～	⑨ センサーカメラで 24 時間観測（～4/24、7 台稼働）
	4/15～	●市実施隊※による長峰丘陵ぎわのパトロール（～4/20、銃携行）
	5/5	●特定個体の捕獲対応（朝 8 時、千曲川河川敷で 1 頭を銃器捕獲）
	5/12～	⑨ 加害個体の DNA（血痕抽出）と捕獲個体の DNA 照合
	調整中	●専門家による今回の出沒案件の評価検証（実施調整開始）
木島平村 穂高 (中村)	4/16	●人身事故発生に伴う緊急対応（木島平村、飯山警察署との連携）
	4/16～	●クマ対策員がサーマルドローンで近隣の藪を探索（～4/28）
	"	⑨ センサーカメラで 24 時間観測（～4/28、3 台稼働）
	"	●村実施隊※による村内のパトロール（～4/18）
	4/22	●特定個体の捕獲対応（早朝 4 時、内山地区の捕獲檻で 1 頭捕獲）
	調整中	●専門家による今回の出沒案件の評価検証（実施調整開始）

※…「鳥獣被害対策実施隊」は鳥獣被害防止特措法に基づき設置、被害防止計画に基づく捕獲等の実践活動を担う。
隊員の報酬や公務災害補償措置を市町村条例で定め、隊員は市町村長が任命または指名する。

(2) CATV、防災無線、公式 LINE 等により 地域住民等へ素早く こまめに 繰り返し、注意喚起

(3) 振興局公式 SNS 等による地域住民等への情報提供

・局が有する SNS ツールを活用し、**注意喚起に合わせ地域特有の情報を地域へ広報**

ツール	実施日	実 施 内 容
長野県プレス	4/10	出沒注意報発出のお知らせ（R7.4.10～6.30）
局 X・ブログ	4/14	遠隔操作センサーカメラによる観測開始のお知らせ
"	4/24	大型看板等でクマとの遭遇防止対策の啓発活動をスタート
林務課 HP	4/24	北信のクマ注意情報のホームページを開設

(4) 地域関係者に対する注意喚起

・文書により、JA 組合員等の農業者に向けた、農作業時における注意喚起

4/10、16 北信農農センター → JA ながのみゆき、JA 中野市、JA ながの志賀高原、6 市町村

(5) ⑨ クマ対策緊急連絡会議の設置（4/25 開催）

・対象：6 市町村鳥獣対策担当者、森林組合担当者

・ゴールデンウィークなど当面の緊急時の対応策、連携事項等の確認・調整

・グループ LINE（6 市町村、2 組合、林務課）の運用開始（出沒情報の都度共有）

(6) 飯山市で捕獲された個体について

①経過

通報 令和7年5月5日（祝）5:40 （クマ対策員がドローン調査中に個体を発見）

捕獲 " 7:55

②通報捕獲場所

飯山市、千曲川河川敷（中州）



③捕獲個体情報

性別	年令	体重	身体特徴
オス	(査定中)	115kg	個体の胸に7～8本の外傷痕

④DNA分析・照合

民家のガラスを割って侵入した際、負傷したクマが現場に残した血痕からDNAを抽出。環境保全研究所を通じ、筑波大学菅平実験所で捕獲個体のDNAを分析、照合する予定。

⑤安定同位体比分析

体毛分析により、捕獲個体の長期的な食物利用状況を明らかにし、集落依存型個体か確認。環境保全研究所を通じ、森林総合研究所で捕獲個体の体毛を分析する予定。